

分子代謝学特別実験

Experiments in Molecular Metabolism

12 単位 (選択) 1 年, 2 年

宮本 賢一・教授 / 人間栄養科学専攻, 瀬川 博子・講師 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

辰巳 佐和子・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】 分子栄養学の実験手法を身につける。

【授業概要】 アミノ酸, ミネラル, 電解質のもつ生体維持の恒常性について, 疾患の予防と治療的な側面より研究する。とくに, 最新の生化学・分子生物学的手法の習得や, これらの技術を基盤とした分子栄養学について教育を行う。また, 与えられた研究課題について, 指導教官とともに実験学習し, 基礎栄養学を理解する能力を身につける。

【履修上の注意】 なし

【授業計画】

1. ミネラルの栄養状態が身体の各機能 (骨代謝, 老化, 学習, 記憶など) に及ぼす影響について, 生化学・分子生物学的手法を用いて研究する。 (担当者: 宮本教授)

【成績評価】 実験実習への出席状況により判定する。

【再試験】 なし

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217637>

【連絡先】

- ⇒ 宮本 (分子栄養学分野, 088-633-7081, miyamoto@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 瀬川 (088-633-7082, segawa@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 辰巳 .